

(この時代のわたしたちの)

未来への責任

—— 憲法論議の先に見えるもの ——

私たちの生きている社会の底は多くの「あたりまえ」でできあがっていて、その上に私たちは安心して生活している。それらは、共有する価値観や文化であり、その社会の長い歴史や経験の上につくられてきたものだ。

ここ数年、この教育講演会では、現代社会が大きくゆがみ、変容していく中でも、子どもたちに残すべき未来とは何かという視点から、教育の進むべき道を模索してきた。競争的でない社会、多様性が真に豊かさに結びつく社会……。

しかし今、私たちは未来に対し一層懐疑的にならざるを得ない状況に直面している。それは、「あたりまえ」なるものが無視され、踏みじられる現実を見せられているからだ。そして、その背景にある力学と思惑は少しずつその輪郭を明らかに始めている。

「すべての人の命は大切にされなければならない」……この言葉をいつまで私たちは「あたりまえ」として感じ続けることができるのだろうか。

憲法改正の論議を軸に、私たちの「あたりまえ」を見つめ直し、懐疑的な未来を直視したい。

講師



青井 未帆

(学習院大学教授)

憲法学者。集団的自衛権の行使容認の閣議決定以降、「憲法と政治」の問題に積極的に発言し、「憲法で政治を縛る」という立憲主義の理解の重要性を説いている。主な著書に『憲法を守るのは誰か』(幻冬舎ルネッサンス新書 2013)、『国家安全保障基本法批判』(岩波ブックレット 2014)、『憲法と政治』(岩波新書 2016)がある。

2018年

日時

2/25



14:00~17:00

(受付13:40)

場所

大和市文化創造拠点 SiRiUS

生涯学習センター 6階 601会議室

小田急江ノ島線/相鉄本線 大和駅徒歩3分 (定員100名)

定員
100名

参加費

一般：1,000円

学生：500円 (高校生以下無料)

主催・問い合わせ

NPO法人教育支援グループ Ed.ベンチャー

TEL/FAX：046-272-8980 E-mail：toiawase@edventure.jp



NPO法人教育支援グループEd(えど)ベンチャーは、2007年に、市民、退職教員・現職教員、研究者らが集まり立ち上げた社会教育団体です。目的は、子どもたち、学校、先生、保護者らが直面する問題を社会構造に照らして理解・共有し、とくに弱い立場に置かれた子どもに焦点をあてつつ、すべての子ども、先生や学校が明るい未来を創造するためのお手伝いをすることです。

※当日は11:00よりEd.ベンチャー定期総会(610会議室)が行われます。ご興味のある方は是非ご参加下さい。